

# 犬山市民文化会館 犬山市南部公民館 ホール照明改修



所在地：愛知県犬山市羽黒摺墨11番地  
 建築面積：文化会館 3,334.993㎡、公民館 1,869.947㎡  
 延床面積：文化会館 4,538.443㎡、公民館 2,491.094㎡  
 客席数：文化会館 1,230席、公民館 366席  
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上3階建（文化会館）、  
 地上2階建（公民館）  
 施主：犬山市  
 照明改修施工：東芝エルティエンジニアリング（株）  
 照明改修完成：平成24年9月

S189

愛知県犬山市が、2つの多目的ホールの照明設備を同時にリニューアル。  
 犬山市民文化会館、犬山市南部公民館ともに、最新のLEDシアター用ダウンライトやLED音響反射板ライト、  
 それに調光操作卓を導入し、大幅な省エネと効果的な舞台演出を両立させました。

市民の憩いの場であり文化拠点でもある2つのホールで照明設備を改修

昭和57年8月竣工の犬山市民文化会館大ホールと、昭和59年10月竣工の犬山市南部公民館は、どちらも同じ敷地内にある連結した建物で「新たな感動はこの空間から」のコンセプトのもと、コンサートからイベントまで、幅広い用途で犬山市民に親しまれています。両ホールはこの度同時に照明設備を一新。LED照明による大幅な省エネと、先進の調光操作卓による高度な空間演出の両立を実現しました。

最新のLEDシアター用ダウンライトと調光操作卓による省エネと空間演出

定員1,230席の市民文化会館大ホールは、客席照明として高演色のLEDシアター用ダウンライト6000シリーズ（消費電力106W、色温度3000K）を採用。2灯1組として天井のスリットの奥に配置し、直接光と反射光を織り交ぜた高級感のある空間演出を実現しながら、ハロゲン天井反射板ライト300Wに比べて、500W相当の明るさで約77%の消費電力削減を可能にしています。また、生演奏などの音響を適切に反射するための舞台音響反射板には、LED音響反射板ライト4000クラス（消費電力96W）を採用。既存の300Wハロゲン器具と比べて68%の消費電力削減を可能にし、さらに、熱線ほぼゼロにより、ステージ上の演奏者や楽器へのストレスも排除しています。

調光操作卓は、デジタル制御で手動・自動再生の機能を有し、パッケージ操作も可能なLICSTAR-IV TypeJを採用。制御チャンネルは1024chとなっています。

定員366席の南部公民館講堂は、青と黄色を基調としたカジュアルな意匠の多目的ホールで、市民文化会館大ホールと同様、客席照明にLEDシアター用ダウンライト6000シリーズ、舞台音響反射板にLED音響反射板ライト4000クラスを採用。

調光操作卓は、制御チャンネル512chで、仕込み、再生方法の操作は文化会館用と同仕様のTOLSTAR-III TypeFを採用。TFTモニターやノートPCなどによりホール負荷変動に合わせたレイアウトをグラフィック化し、調光レベルの閲覧を可能にしています。



LEDシアター用ダウンライト6000シリーズを採用した南部公民館の客席照明（舞台側から客席を望む）



生演奏用の舞台音響天井反射板はLED音響反射板ライトへ更新（客席側から舞台を望む）



LEDシアター用ダウンライト6000シリーズ



コンパクトながら3段フェーダーを備えた高機能な調光操作卓、TOLSTAR-III TypeF



LEDシアター用ダウンライト6000シリーズを採用した市民文化会館大ホールの客席照明（客席側から舞台を望む）



間口19m×奥行14m×高さ8mの舞台、天井反射板に44台のLED音響反射板ライトを設置

## 主な照明設備・調光設備

設置	設置場所	器具名	ランプ・備考	数量
照明設備	市民文化会館	LEDシアター用ダウンライト6000シリーズ	LED 消費電力:106W	132台
		LED音響反射板ライト4000クラス	LED 消費電力:96W	44台
	南部公民館	LEDシアター用ダウンライト6000シリーズ	LED 消費電力:106W	40台
		LED音響反射板ライト4000クラス	LED 消費電力:96W	21台
調光設備	市民文化会館	調光操作卓 LICSTAR-IV TypeJ	制御回路数1024回路、PF80本×3段、SM20本×20ページ、1000シーンメモリー	1式
	南部公民館	調光操作卓 TOLSTAR-III TypeF	制御回路数512回路、PF50本×3段、SM20本×10ページ、1000シーンメモリー	1式